

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和 2 年 10 月 29 日（木）18：29～20：09

場 所：阿野呂公民館

出席者：6 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. これからのまちづくり（資料 1 参照）

- ・栗山赤十字病院の改築について

4. 懇談

5. その他（情報提供）

（1）光回線の全面開通について

（2）栗山高等学校と介護福祉学校の状況について

（3）新型コロナウイルス感染症対策について（資料 2 参照）

- ・町民の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－1 参照）

- ・事業者の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－2 参照）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（資料 2－3 参照）

（4）空き家の情報提供について

6. 閉会

《懇談内容》

【栗山赤十字病院の改築について】

町民：移転の場合、解体費を国が出せない理由は。

町長：借入金の国の制度に対する要綱があるが、これから整備するものに対する借入に対して国が補助するといったもので、解体するものに関して借入金として認められない。ただ、現地建て替えをする場合、駐車場など病院のために整備をするので、特例的に既存建物の解体費を借入対象として認められるということになる。

町長：移転建て替えの考え方もいろいろな意見が出ている。駅周辺や角田周辺、富士の栗山由仁線の栗山町農産物検査場付近に建てたらどうかといった、さまざまな意見が出ている。ただ、国から移転建て替えに伴う解体費用の借入金が出ないので、現実的には現地建て替えを基本として考えている。

町民：現地建て替えができるスペースはあるのか。

町長：栗山赤十字病院の設計はこれからだが、コンサルタントの提案などをみると、栗山赤十字病院の南側に広いスペースがあり、7200 m²の建築面積は整備できる計算になる。既存建物の解体後に広い駐車場も確保できる。平成 17 年に増築した人工透析病棟も活用したい。

町民：移転となると 6 億円の問題と土地の取得などの問題もある。現状を考えると今の場所に建て替えるのが負担は少ないと思う。

町民：どこに移転するかでも悩む問題だと思う。今の場所がバス停などもあり、利便性もいい。今の栗山赤十字病院の建築面積はどれくらいの大きさなのか。

町長：5 階建てで約 8700 m²の建物になる。建て替えでは病床数が減るので面積は小さくなる。おそらく 3 階建てになる。

町長：今の栗山赤十字病院は不便だといった意見もあった。総合窓口と診療科窓口があって、導線も考えるべきだと言われた。

町民：玄関から内科や眼科などは確かに遠い。高齢者が多いので、歩く距離は短くしてほしい。人工透析病棟も遠い。MRI はないので不便だと思う。

町長：栗山赤十字病院の経営維持のために、診療科もコンパクトにしたらどうかといった意見もある。他の町にある診療科を減らすことで経費削減につながるのではないかとといった意見もあった。ただ、通院している患者さんもいる中で、診療科がなくなるのは困る。いろいろな意見を聞きながら検討していく。

町民：病院の町から持ち出し分があると思うが、建て替え後も続くのか。

町長：今、町からは、9700 万円を栗山赤十字病院に支援している。救急告示や公的病院は不採算であっても国から交付税が入ってくる。7300 万円が国から町へ交付税として入る。差し引くと町の負担額は 2000 万円くらいになる。

新しい病院になって病床数を 136 床から 100 床に減らすことで、国の交付税は増える仕組みになっている。病院の再編統合などの取り組みに対して、国はお金を出す仕組みになっている。1 億 5000 万円くらいの交付税になる。増額した分の全額を栗山赤十字病院へ出して、30 年間で 14 億 1 千万を町へ返済してもらう仕組みになる。町も栗山赤十字病院もお金がない中での建て替えになるので、国のいろいろな制度を活用していく。

町民：病院の所有者はあくまで栗山赤十字病院になるのか。

町長：昔は、町立病院だったこともあった。栗山赤十字病院に移管して今の病院になっている。

町民：建物に対する税金などは町に入ってくるのか。

町長：町としては栗山赤十字病院が撤退されることが一番困る。今後もこれまでの関係を維持していきたいと考えている。

町長：公的病院には 1 種、2 種とあり、栗山赤十字病院は 2 種になる。1 種の方が国から多く支援を受けられるのだが、栗山赤十字病院は 1 種にならない。1 種になるためには半径 15 km 圏内に病院があることで 1 種から外れてしまう。具体的には栗沢の病院が 15km 以内にあるので 2 種になってしまう。しかし、町民は栗沢の病院には行かない。国は、机上の論理で考えているので、現実とのずれがある。1 種になると、5000 万円さらに上乗せされるので相当違ってくる。

町民：建て替えて行くにあたって、騒音や振動などの苦情が出てくるのでは。近隣住民の理解などは得られているのか。

町長：これからの話になってくる。具体的に現地建て替えが正式に決まると、地域住民の理解を

得られるようにしていく。住宅街も近いので騒音などの問題などは今後検討しなければならない。理解を得られるようにしたい。

町民：騒音などの問題を考えると、駅前だとか利便性のいいところへの建て替えが一番いいと思うが、解体費用が出ないのであれば仕方がないと思う。

《質疑応答》

【その他（情報提供）】

町民：栗山高校の件で、今年は栗山中学校からの入学者数はどの程度か。

教育長：今年は 35 人、去年は 26 人が栗山中学校からの入学者になる。

町民：若干増えたということか。聞いた話だが、中学校の進路の話で、岩見沢の学校を希望していたが、成績などの理由から栗山高校を勧められたという話を聞いた。その子だけではなく、複数いたという話を聞いた。事実かどうかはわからないが、栗山高校の入学者数を増やしたいということが、間違った方向に行っていないかといった心配がある。子どもの意思を尊重した中で進路を考えていただけたらと思う。

教育長：栗山中学校にお願いしているのは、保護者や子どもの意思を優先。意思を無視して栗山高校を勧めているということはない。事実確認をしていないが、学力で厳しいという話は、私も教員だったので経験はある。今の学力ではここの高校しか行けないというようなことは教員は絶対に言わない。中学校の教員には、栗山高校を魅力ある学校として選択してもらえるようをお願いをしている。学校にも話をして、誤解を招くことのないようにしていきたい。

町民：誤解であったとしても、本人は、そういう風に受けとめたと思うのでそういうことはないようにしてほしい。

町民：介護福祉学校も卒業後の取り巻く環境が厳しい。魅力あるような仕事が介護には求められると思う。

町長：介護福祉学校は経営改善計画で、定員を 80 人から 40 人に減らし、町からの補助 8000 万円を 4000 万円に減額することを考えている。4000 万円の税金を投入するだけの価値がある学校であることを目指してもらいたい。

町長：介護人材の確保は国の問題でもある。5 年後には全国で 34 万人、北海道でも 2 万人不足する。国の責任でやってもらいたいと要望している。武田総務大臣が栗山へ訪問したときに、介護福祉学校の養成校が町立なのは珍しい。道立校として運営するべきではないか。また、北海道大学付属の介護専門学校にできないかといった意見をいただいた。

町長：今まで国に要望していたことに対して、対処療法的な対策では解決しないので、根本的におこなうべきといったアドバイスを受けた。

町民：介護の仕事に魅力があれば、自然と人は集まる。国は介護の事業所に対する補助はすごかったのが事業所は潤ったが、そこで働く人は給料が安いなど厳しい環境だった。介護福祉学校としても、介護の現状からそれを仕事とする人が減ってしまったことから、介護福祉学校の生徒が減っているのだと思う。国にしっかりと介護福祉士が必要だということを示していく必要がある。将来的に介護福祉士のお世話になるので、国や道などに支援などを求めていくことが必要だと思う。

町民：空き家になっていた建物の倒壊などの問題は起きているのか。

町長：国の法律も変わり、空き家の中でも特に危険度が高い建物に対して、特定の空き家を所有

者とやり取りをして解体を促すが、所有者が解体に応じない場合であっても、代執行ができるようになった。

町長：国道 234 号の岩見沢から市街地に入ったところにも、倒壊した空き家がある。一番問題になるのはお金。町が解体費用を肩代わりしているので所有者が払えないと言ったらおしまいになる。

町民：倉庫のトタンがめくれあがっている状況で所有者に何度か連絡してもらっているが、対処してもらえない建物がある。どうしたらいいか。

副町長：自治会長を通じて空き家の連絡をいただいている。町から所有者へ解体を促すようなアプローチはしていく。過去に 3 件ほど解体をしてもらった事例もある。

町長：まずは、町に連絡してもらいたい。

町民：町の方に情報を入れておく。

町長：栗山赤十字病院のコロナ検査のことで情報提供がある。

日赤改築室長：11 月 9 日から、建物右手にプレハブを設置し、発熱外来を開設した。午前中に電話で予約をし、午後からの診察となる。PCR 検査自体はできないが、検体を採取して、検査に出すことができる。2 日から 5 日くらいで検査結果が分かる。また、唾液採取して抗体を調べる抗原検査も行える。1 時間くらいで検査結果が出る。発熱などの症状があって、医師の判断で検査を受ける場合は国が費用を負担する。自分で検査をする場合は、自己負担になるので PCR 検査で 2 万円、抗原検査は 7500 円かかる。65 歳以上の人が検査をする場合の補助制度を検討している。

町民：PCR 検査結果の証明は出るのか。

日赤改築室長：医師からの証明はおそらく出せると思う。検査の結果、陽性が出た場合、保健所から指導が入り、岩見沢の病院へ行くように通知が来ることになる。

町民：テレビで 11 月から海外旅行に行くとしたら、出発前に PCR 検査をしていたら、問題なく旅行することができるといった話を聞いた。

日赤改築室長：入国の時に証明書か検査結果を求められると思う。医師に言えば書類を提出してもらえと思う。

20：09 終了